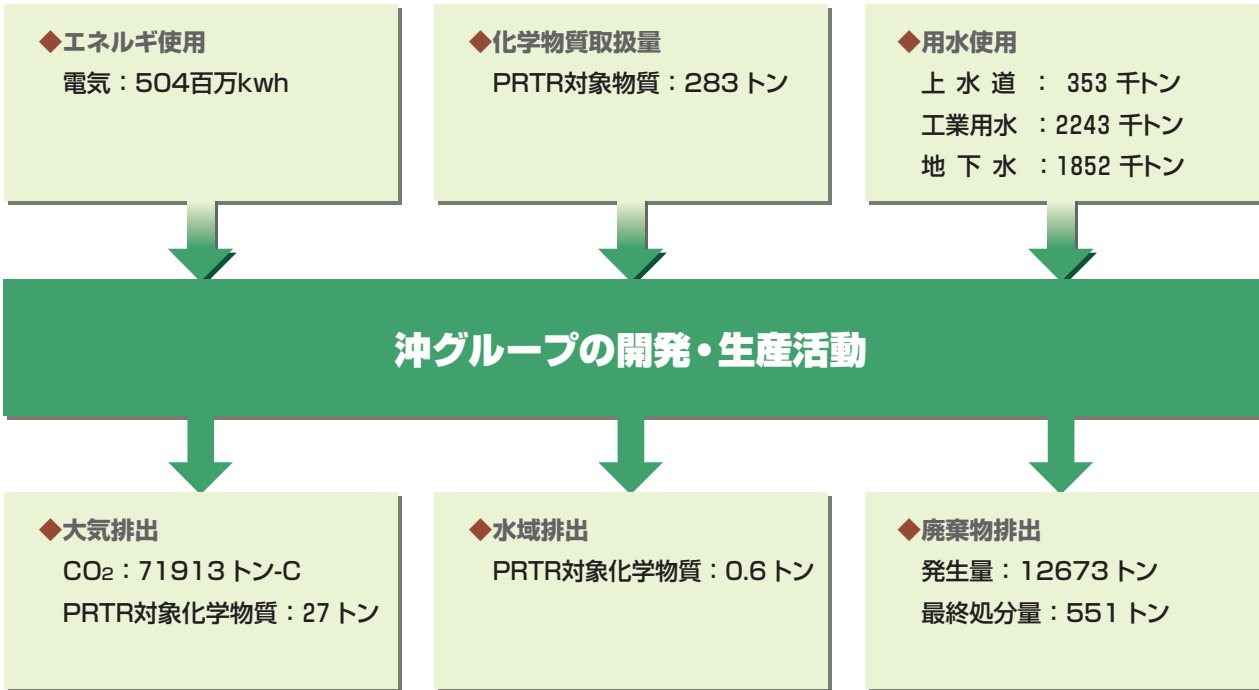


環境保護の取り組み

事業活動への資源投入と環境への排出

沖電気の事業活動への資源投入と環境への排出の概況は次の通りです。



工場廃棄物の減量化・再資源化

廃棄物の減量化、再資源化は、今後目指すべき資源循環型社会の基本となるものです。沖電気では、工場廃棄物（一般廃棄物+産業廃棄物）の削減目標を下記の通り設定し、活動しています。

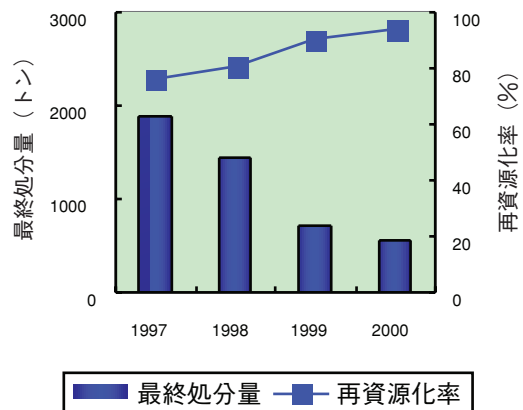
- ◆ 2000年度末までに工場廃棄物の最終処分量を1997年度比、70%削減する
- ◆ 2000年度末までに工場廃棄物の再資源化率90%を達成する

1. 工場廃棄物の年度削減実績

工場や事務所から発生する廃棄物を削減するため、次の3つのアプローチで取り組みました。

- ① プロセスの見直しと改善により、廃棄物の発生抑制を図る。
- ② 発生した廃棄物は、再使用や再資源化を図る。
- ③ 廃棄せざるを得ないものについては、処分場の負荷を少なくするため容積低減を図る

この結果、2000年度の最終処分量は551トンで1997年に比べ70.8%削減しました。また、再資源化率は94%で、共に目標を達成しました。



工場廃棄物の最終処分量と再資源化率（主要生産拠点を対象）

環境保護の取り組み

2. 工場廃棄物の削減活動

産業廃棄物の削減活動

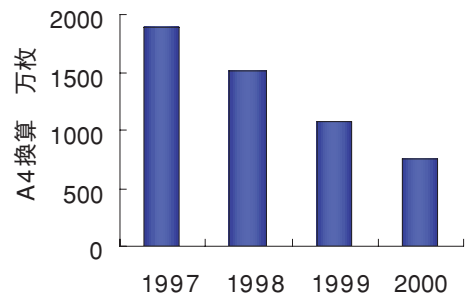
廃プラスチックのマテリアルリサイクルは困難なため、サーマルリサイクル（燃料化）が一般的に行われています。ただし、燃やしたときに生じるダイオキシンを問題視し、富岡地区では成形工程で発生する廃プラスチックのマテリアルリサイクルに取り組みました。社内外のリサイクル用途の発掘と品質確認評価を行い、その結果リサイクル率100%を達成しました。

成形性	良 好				悪 い		
使用材料	POM 自然色	POM 着色	ABS	ABS 難燃性	ABS /PC	変性 PPHOX	その他
社内粉碎可能	材料化	社内リサイクル			社外リサイクル (角材、側溝の蓋)		
社内粉碎不可能	社外リサイクル (角材、側溝の蓋)						

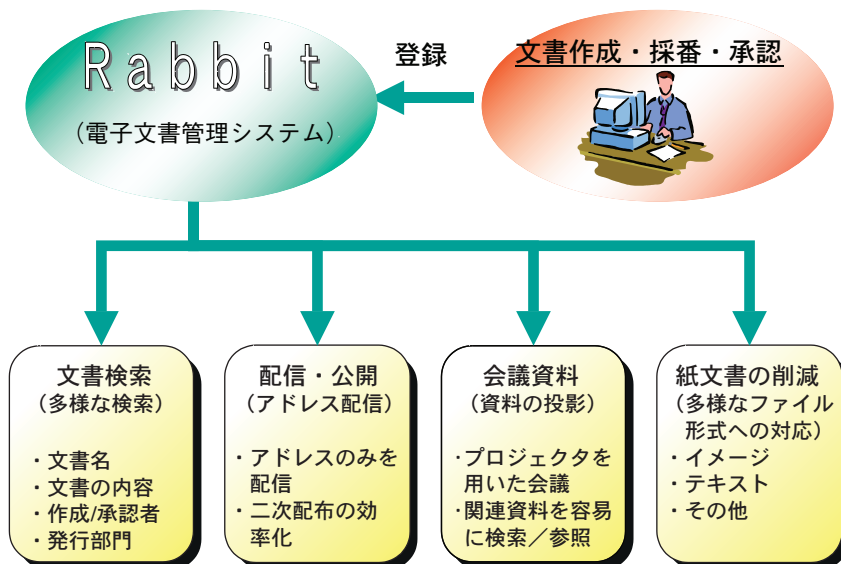
廃プラスチックリサイクルの用途

事務所で廃棄物削減活動

沖電気の各地区では、「電子文書管理システム」の活用により、紙の使用と排出を減らし森林資源保護に努めています。東京・幕張地区では、本システム（社内名称：Rabbit）とネットワークを有効活用し、紙使用量の大幅な削減を実施しました。



東京・幕張地区紙使用量



「Rabbit」概要